様式第１号（第１０条関係）

２０２３年度業務実績報告書

提出日　2024 年　1 月　17 日

１．職名・氏名　　教授　　中谷　芳美

２．学位 学位　博士　、専門分野　看護学　、授与機関　名古屋大学　、授与年　2012 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **公衆衛生看護学概論**（2 単位）2 年次
②内容・ねらい 公衆衛生看護学の概念を諸外国の公衆衛生や公衆衛生看護の変遷、ヘルスプロモーション、健康の概念等も含めて概説し、人々の健康に影響する社会環境を踏まえて、現代社会が抱える広範囲かつ複雑な地域の健康課題に対応する公衆衛生看護活動の理念と公衆衛生看護活動の対象である個人・家族・グループ、組織・集団・地域の捉え方、活動の場と活動方法の特性を踏まえて、公衆衛生看護活動の今後の課題と保健所・市町村の保健師に求められる役割と専門性について理解を深める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義は事例や視聴覚などを多く用い、公衆衛生看護学への知的関心を引き出しながら、学生の理解や思考を促すことをめざしている。自分の意見を自分の言葉で他者に伝える、他者の意見を聞くという看護の基盤となる双方向のコミュニケーションを通して、公衆衛生看護学への興味・関心と主体的な学習態度を育むことを重視している。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **保健指導論**（1 単位）2 年次
②内容・ねらい 公衆衛生看護活動における保健指導の目的と対象、保健指導の歴史的変遷を概説し、地域で生活する個人・家族を支援するために必要な知識と理論、技術について概説し、個別保健指導における保健指導の基本的な姿勢と技術を学習する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義は事例や視聴覚、ロールプレイなどを多く用い、保健指導への知的関心を引き出しながら、学生の理解や思考を促すことをめざしている。特に、保健指導の実際はロールプレイを通して保健指導の基本的な姿勢と技術、コミュニケーション能力を育むことを重視している。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **公衆衛生看護活動論Ⅱ**（2 単位）3 年次
②内容・ねらい 地域で生活する個人や家族、特定集団、地域住民のライフステージ各期における健康問題・課題を解決する公衆衛生看護活動を展開するために必要な知識と展開方法を教授する。市町村と保健所における公衆衛生看護活動の実際と保健師の役割と機能について教授する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義は事例や視聴覚教材などを多く用い、公衆衛生看護活動への知的関心を引き出しながら、学生の理解や思考を促すことをめざしている。事例に対する自己の学びや意見を発表しあうことで論理的思考能力を育むことを重視している。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **公衆衛生看護管理論**（1 単位）3 年次

②内容・ねらい
公衆衛生看護管理の目的と機能、情報管理、地域ケアの質の保証、組織運営と業務管理、予算管理、人事管理と人材育成、災害時の健康危機管理について理解し、公衆衛生看護管理における保健師の役割について理解を深める。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
講義は事例や視聴覚教材などを多く用い、公衆衛生看護管理への知的関心を引き出しながら、学生の理解や思考を促すことをめざしている。事例に対する自己の学びや意見を発表しあうことで論理的思考能力を育むことを重視している。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
公衆衛生看護技術Ⅰ（地域診断）（1 単位）3 年次

②内容・ねらい
公衆衛生看護活動の基盤となる地域診断に必要な情報を収集し、地域の特性と健康指標をアセスメントした結果に基づいて健康課題を明らかにする能力を実習する市町の地域診断を通して教授する。実習する市町の地域診断に必要な情報を収集し、マップや図表を作成し、地域特性と健康課題をアセスメントした結果を記述する技術と能力を修得することを目標とする。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
4 年前期の実習市町ごとに 3～5 人の小グループに分かれて、地域診断に必要な地域特性の把握、健康指標のアセスメントをするために知識・技術を身につけられるようにきめ細かな指導を行う。また、実習グループメンバーと協力し、学生が主体的に取り組めるよう、かつグループダイナミクスが醸成できるように運営する。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
公衆衛生看護技術Ⅱ（個人・家族）（1 単位）3 年次

②内容・ねらい
地域で生活する個人・家族を支援するために必要な知識・技術と展開過程、態度について教授する。個人・家族への支援方法としての家庭訪問と乳幼児健康診査に必要な知識・技術、アセスメント能力、支援方法は演習を通して教授する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
講義は事例や視聴覚教材などを多く用い、個人・家族支援の展開過程と必要な技術を理解できるように、家庭訪問と乳幼児健康診査における問診・保健指導に必要な知識・技術、発育・発達などの個人・家族アセスメント能力、支援方法は、演習により学生自身が事例展開をする。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
公衆衛生看護技術Ⅲ（集団・組織）（1 単位）3 年次

②内容・ねらい
地域で生活するグループ・集団を支援するために必要な知識・技術と方法、態度について教授する。集団への支援方法としての健康教育の展開過程については、対象者・地域の特性と対象者の発達段階・健康課題を把握・アセスメントし、支援の必要性（ニーズ）とその優先順位を明らかにする能力を修得する。さらに、アセスメントに基づき、健康教育の目的･目標を明確化し、計画書を作成する過程を通して、健康教育の企画に必要な能力を養う。通して教授する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
健康教育の展開は、4 年前期の実習市町ごとに 3～5 人の小グループに分かれて、健康教育に必要な知識・技術を身につけられるように、グループメンバーと協力し、学生が主体的に取り組めるよう、かつグループダイナミクスが醸成できるように演習を行う。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
卒業研究（3 単位）4 年次

②内容・ねらい
　看護学領域における健康問題や課題を自己の体験や文献検討をもとに明確にし、研究的プロセスを経て卒業研究としてまとめることを通して、科学的・論理的思考を養う。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　学生の興味・関心、問題意識からテーマ・目的につながる過程を重視し、学生が主体的に意欲をもって取り組むことができるよう、学生個々の個性を考慮し、サポート内容、進め方を工夫した。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
　公衆衛生看護学実習Ⅰ（2 単位）4 年次

②内容・ねらい
　実習する市町の地域診断を通して、地域特性と健康課題を把握する能力を養うとともに、健康課題を解決するために行われている公衆衛生看護活動について理解する。
　地域保健法に基づく広域的、専門的、技術的拠点としての保健所の役割と機能の実際を理解し、保健所内や管内市町の関係機関との連携・調整、他職種と協働しながら展開されている公衆衛生看護活動と保健師の役割について、実習体験を通して理解する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　実習目標と学生の主体的な自己目標に即した実習ができるよう、実習指導担当者との連絡・調整を密接に行うとともに、臨地での実習指導と実習指導者に参加していただく実習検討会をおこなっている。学生個々の学習状況を面接や自己評価の記入により把握し、講義・演習で学んだ知識・技術を実習の場面で統合させて考える事ができるよう、学習資料を作成・提供している。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
　公衆衛生看護学実習Ⅱ（3 単位）4 年次

②内容・ねらい
　市町を単位として受け持ち、個人・家族・特定集団・地域全体を視野に置いた公衆衛生看護活動を展開するために必要な能力を養う。特に、個別事例に対する訪問指導を行う家庭訪問や集団を対象とする健康教育、地域組織活動への支援、地域住民、関係機関や他職種との連携・調整の実際を通して、地域の健康課題に対する公衆衛生看護活動の展開方法と保健師の役割と専門性について理解する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　実習目標と学生の主体的な自己目標に即した実習ができるよう、実習指導担当者との連絡・調整を密接に行うとともに、臨地での実習指導と実習指導者に参加していただく実習検討会、学内では実習施設間の学びを共有できるよう実習のまとめ･発表会をおこなっている。学生個々の学習状況を面接や自己評価の記入により把握し、講義・演習で学んだ知識・技術を実習の場面で統合させて考える事ができるよう、学習資料を作成・提供している。

(2)その他の教育活動

4．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書
・助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健（共著）、第 6 版. 担当 第 3 章「母子保健行政のしくみ」、36－51、2023 年、医学書院.
・2024 年版 保健師国家試験問題集（共著：P25-58, P125-178）、2023 年、医学書院. 【２本】

②学術論文（査読あり）
【０本】

③その他論文（査読なし）
【０本】

④学会発表等（ポスター発表、口頭発表等）

【０件】

⑤その他の公表実績

【０本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

(3)特許等取得

(4)学会活動等

・北陸公衆衛生学会 評議員（2023 年 1 月～12 月）

５．地域・社会貢献活動

①-2 委員就任（県）
福井県介護保険審査会　委員　R4.4～現在に至る
福井県医療審議会　委員　R4.11～現在に至る
福井県高齢者福祉・介護保険事業支援計画策定懇話会　委員　R5.7～現在に至る
①-3 委員就任（市町村）
鯖江市健康づくり推進協議会　委員　R3.8～現在に至る
鯖江市介護保険運営協議会　会長　R4.7～現在に至る
鯖江市介護予防・日常生活支援推進協議会　会長　R4.12～現在に至る
鯖江市地域包括支援センター運営協議会　会長　R4.12～現在に至る
永平寺町介護保険運営協議会　会長　R3.4～現在に至る
永平寺町地域包括支援センター運営協議会　会長　R3.4～現在に至る
永平寺町地域密着型サービス運営委員会　会長　R3.4～現在に至る
永平寺町第９期高齢者福祉計画・介護保険計画策定委員会　会長　R5.5～現在に至る
永平寺町健康づくり推進協議会　会長　R5.2～現在に至る
①-4 委員就任（その他公益法人等）
福井県国民健康保険団体連合会　保健事業支援･評価委員会委員　R4.7～現在に至る
⑥開放講義（人々の生活を支援する看護・福祉：その人らしく生きることを支え、その人の人生に寄り添う専門職）福井県立丹生高等学校　R5.12.11
⑦敦賀市立看護大学研究倫理審査委員会　委員　R4.4～現在に至る
⑧永平寺町功労表彰　R５年 10 月 28 日

６．大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

・看護学科カリキュラム検討委員会　委員：H27.4～現在に至る

(3)学内行事への参加

・オープンキャンパス（R5.8.6）

(4)その他、自発的活動など